

平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年8月12日

上場会社名 エイボン・プロダクツ株式会社 上場取引所 JQ  
 コード番号 4915 URL http://www.avon.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) テレンス・ムアヘッド  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡 修 (TEL) 03 (5353) 9227  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第2四半期の業績（平成22年1月1日～平成22年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	8,725	△10.4	21	—	28	—	24	—
21年12月期第2四半期	9,735	—	△93	—	△56	—	△61	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年12月期第2四半期	0	42	—	—
21年12月期第2四半期	△1	04	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
22年12月期第2四半期	8,115		4,988		61.5	85	33	
21年12月期	8,699		4,963		57.1	84	91	

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 4,988百万円 21年12月期 4,963百万円

2. 配当の状況

	年間配当金								
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	
21年12月期	—	—	0	00	—	0	00	0	00
22年12月期	—	—	0	00	—	—	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	—	—	0	00	0	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成22年12月期の業績予想（平成22年1月1日～平成22年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	17,545	△10.7	△983	—	△964	—	△970	—	△16	60

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P.2「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：無

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年12月期 2 Q	58,458,605株	21年12月期	58,458,605株
22年12月期 2 Q	850株	21年12月期	0株
22年12月期 2 Q	58,458,322株	21年12月期 2 Q	58,458,618株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、将来に関する見通し及び計画に基づく予測が含まれております。今後の経済情勢等、様々な不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	2
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	2
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(第2四半期累計期間) .....	6
(第2四半期会計期間) .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)におけるわが国経済は、新興国向けを中心とした輸出増加により企業収益に回復傾向が見られましたが、雇用及び所得面の改善は遅れており、依然として個人消費は低調に推移しました。

当社の主要製品分野であります化粧品業界におきましても、個人消費の低迷により全体として冷え込みが続いております。

こうした中、低調な個人消費は当社の売上に影響を与え、また当社は現在、複数年にわたる業績回復プランの道程にありますが、売上高は前年同四半期に比較して減少しました。しかしながら、販売システムの簡素化及び効率化を進め、販売促進費、通信費及び人件費等の諸経費を積極的に削減したことにより、四半期純利益を計上しました。

当第2四半期累計期間の売上高は87億25百万円(前年同四半期比10.4%減)、営業利益は21百万円(前年同四半期は営業損失93百万円)、経常利益は28百万円(前年同四半期は経常損失56百万円)及び四半期純利益は24百万円(前年同四半期は四半期純損失61百万円)となりました。

また、当第2四半期会計期間の売上高は45億68百万円(前年同四半期比8.6%減)、営業利益は2億21百万円(前年同四半期比40.7%増)、経常利益は2億30百万円(前年同四半期比43.5%増)及び四半期純利益は2億28百万円(前年同四半期比46.9%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べて5億84百万円減少し、81億15百万円となりました。これは主として、現金及び預金の減少2億97百万円、売掛金の減少1億29百万円、有形固定資産の減少1億63百万円、前払年金費用の減少1億10百万円及び未収入金の増加2億2百万円等によります。

負債合計は、前事業年度末に比べて6億8百万円減少し、31億27百万円となりました。これは主として、未払費用の減少2億28百万円、未払金の減少2億24百万円、賞与引当金の減少1億40百万円等によります。

純資産合計は、前事業年度末に比べて24百万円増加し、49億88百万円となりました。これは株主資本において、四半期純利益24百万円を計上したことによります。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末と比較して2億97百万円減少し、9億15百万円となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、2億65百万円(前年同期は1億44百万円の使用)となりました。これは主として、その他の流動負債の減少3億95百万円、未払人件費の減少2億7百万円、その他の流動資産の増加1億64百万円、減価償却費1億95百万円、売上債権の減少1億29百万円、前払年金費用の減少1億10百万円があったこと等によります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、24百万円(前年同期は31百万円の使用)となりました。これは固定資産の取得が24百万円であったこと等によります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、8百万円(前年同期は1億41百万円の獲得)となりました。これは主として、リース債務の返済による支出が7百万円であったこと等によります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年12月期の業績予想につきましては、平成22年2月18日付「平成21年12月期決算短信(非連結)」にて発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

#### (簡便な会計処理)

##### ① たな卸資産の評価方法

当第2四半期会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前事業年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出しております。また、たな卸資産の簿価切下げにあたっては、収益性の低下が明らかなたな卸資産についてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産につきましては、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

(四半期財務諸表の作成に特有な会計処理)

税金費用の計算

税金費用につきましては、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	915,960	1,213,417
売掛金	969,712	1,098,901
商品及び製品	721,726	772,154
仕掛品	162,550	206,051
原材料及び貯蔵品	636,246	588,777
前払費用	324,615	363,559
未収入金	559,732	357,568
その他	2,168	593
貸倒引当金	△10,877	△9,682
流動資産合計	4,281,836	4,591,343
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,435,125	1,496,542
機械及び装置(純額)	507,914	584,932
車両運搬具(純額)	3,124	3,862
工具、器具及び備品(純額)	165,194	189,900
土地	961,838	961,838
リース資産(純額)	53,864	53,089
有形固定資産合計	3,127,061	3,290,165
無形固定資産		
ソフトウェア	30,549	31,677
無形固定資産合計	30,549	31,677
投資その他の資産		
関係会社株式	10,000	10,000
敷金及び保証金	232,383	232,383
前払年金費用	433,741	544,389
投資その他の資産合計	676,125	786,772
固定資産合計	3,833,736	4,108,615
資産合計	8,115,572	8,699,959

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	922,108	914,602
リース債務	14,220	12,383
未払金	716,278	941,219
未払消費税等	63,543	61,403
未払費用	779,704	1,007,824
未払法人税等	15,835	21,096
預り金	151,867	166,419
返品調整引当金	33,061	22,944
賞与引当金	240,999	381,967
その他	2,681	5,149
流動負債合計	2,940,299	3,535,011
固定負債		
長期退職給付未払金	114,438	127,536
役員退職慰労未払金	32,516	32,516
リース債務	40,049	40,969
固定負債合計	187,004	201,021
負債合計	3,127,304	3,736,033
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,114,700	3,114,700
資本剰余金	24,644	24,644
利益剰余金	1,848,970	1,824,581
自己株式	△47	—
株主資本合計	4,988,268	4,963,926
純資産合計	4,988,268	4,963,926
負債純資産合計	8,115,572	8,699,959

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
売上高	9,735,001	8,725,932
売上原価	3,222,892	2,932,001
売上総利益	6,512,109	5,793,931
販売費及び一般管理費	6,606,023	5,772,355
営業利益又は営業損失(△)	△93,913	21,575
営業外収益		
受取配当金	52,800	—
為替差益	—	5,683
その他	2,116	1,931
営業外収益合計	54,916	7,614
営業外費用		
支払利息	785	378
為替差損	16,359	—
その他	1	0
営業外費用合計	17,146	378
経常利益又は経常損失(△)	△56,143	28,812
特別損失		
固定資産除却損	1,511	1,387
特別損失合計	1,511	1,387
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△57,655	27,424
法人税、住民税及び事業税	3,351	3,035
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	3,351	3,035
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△61,006	24,389



(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第2四半期会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
売上高	4,996,015	4,568,020
売上原価	1,583,389	1,475,356
売上総利益	3,412,625	3,092,664
販売費及び一般管理費	3,255,066	2,870,993
営業利益	157,559	221,671
営業外収益		
為替差益	1,597	7,281
その他	1,770	1,447
営業外収益合計	3,368	8,729
営業外費用		
支払利息	529	183
営業外費用合計	529	183
経常利益	160,399	230,217
特別損失		
固定資産除却損	1,511	—
特別損失合計	1,511	—
税引前四半期純利益	158,887	230,217
法人税、住民税及び事業税	3,189	1,517
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	3,189	1,517
四半期純利益	155,697	228,700

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△57,655	27,424
減価償却費	262,666	195,370
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,451	1,195
前払年金費用の増減額 (△は増加)	97,610	110,647
受取配当金	△52,800	—
支払利息	785	378
固定資産除却損	1,511	1,387
売上債権の増減額 (△は増加)	283,782	129,188
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△147,580	46,461
仕入債務の増減額 (△は減少)	△126,987	7,505
未払人件費の増減額 (△は減少)	11,871	△207,304
退職給付未払金の増減額 (△は減少)	△37,427	△13,097
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△62,229	2,139
その他	△357,582	△560,034
小計	△179,584	△258,737
配当金の受取額	42,240	—
利息の支払額	△785	△378
法人税等の支払額	△6,070	△6,070
営業活動によるキャッシュ・フロー	△144,199	△265,186
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△30,104	△19,514
無形固定資産の取得による支出	△1,875	△4,666
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,979	△24,180
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	147,659	—
自己株式の取得による支出	△80	△47
リース債務の返済による支出	△3,544	△7,041
配当金の支払額	△2,068	△1,002
財務活動によるキャッシュ・フロー	141,967	△8,091
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△34,211	△297,457
現金及び現金同等物の期首残高	126,219	1,213,417
現金及び現金同等物の四半期末残高	92,008	915,960

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。